

学校法人新潟科学技術学園  
新潟工業短期大学  
機関別評価結果

平成23年3月24日  
財団法人短期大学基準協会

## 新潟工業短期大学の概要

設置者	学校法人 新潟科学技術学園
理事長名	吉川 恵次
学長名	高野 英資
ALO	岡田 龍哉
開設年月日	昭和43年4月1日
所在地	新潟県新潟市西区上新栄町5-13-7

### 設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
自動車工業科		160
	合計	160

### 専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	自動車工学専攻	10
	合計	10

### 通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

新潟工業短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 23 年 3 月 24 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 21 年 6 月 23 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は、昭和 43 年 4 月に自動車工学を教授する短期大学として開学した。

建学の精神は「実学一体」であり、実用と学問を両立させ、思いやりの心で、社会に貢献すべきものとして、明確に示されている。教育理念は、自動車工学に関する専門の学術を教授し、応用能力と豊かな教養と人格を涵養し、有用な実践力に富む人材を育成することとしている。教育目的・教育目標は、教育理念を具体的に展開するため、自動車工学に関する理論と技術に関する授業を行い、二級自動車整備士国家資格取得に対応できる、柔軟かつ応用力に富む技術者を育成することとしている。

教育課程は、自動車工学に関する実践的技術者の育成という目標に基づき、体系的に編成されている。教養教育科目と専門教育科目は、ともに十分な内容を備え、適切に配置されている。また、資格取得にも十分な配慮がされている。授業形態は、講義と実験・実習とのバランスがとれており、「実学一体」の精神に基づき構成されている。

教員は短期大学設置基準を満たし、校地・校舎については適切な整備がされている。講義室、情報機器を設置するパソコン教室等は整備されており、図書館の蔵書数、広さは適切であり、その環境は整備されている。

単位認定の方法、単位の取得状況、担当教員による学習評価はいずれも適切に行われている。

入学者選抜は公正に実施されており、入学者に対する適切な指導を行う体制が整備されており、クラス担任制も導入されている。また「出欠調査システム」により学生の出席状況を把握し、全教職員が指導に当たっている。

専任教員の研究は「新潟工業短期大学研究紀要」での発表の機会や、外部からの研究資金を用いた研究の機会が獲得されている。さらに、学内での共同研究グループによる活動も行われている。

生涯学習委員会を設置し、社会人が生涯にわたり学習できるよう支援している。また、小学校・中学校・高等学校の要望にこたえて出張授業を実施している。

学校法人の管理運営体制は、理事長のリーダーシップの下、よく機能している。当

該短期大学の重要事項については、教授会で策定した基本方針に基づいて理事会で審議し、決定を行っている。

財務運営は健全であり、健全な財務体質を保持する努力をしている。施設・設備については、規程に基づいて、管理・運営されている。

改革・改善は、自己点検・評価活動によって明らかになった事項については、学長に報告され、改革改善に努めている。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 当該短期大学の専門就職率は高いレベルで推移しており、卒業生の就職先からの評価も高い。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- 学生への学生支援が組織的に行われている。例えば、入学予定者に「入学前ゼミナール」、入学後の基礎学力調査と補習授業、学力不足時の組織的な補習、国家試験に関する補習などを行っている。
- クラブ活動についても教職員の組織による支援体制が行き届いており、自動車部やバスケットボール部等、全国レベルでの活発な活動が行われている。

#### 評価領域Ⅵ 研究

- 企業等からの外部資金を獲得し、共同研究グループによる活動を積極的に行っている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

- 近年の理工系離れをくい止めて社会に貢献することを目的とし、小学校・中学校・

高等学校の要望にこたえて積極的に出張授業を実施している。

## (2) 向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 学生の図書館利用を促進するため、授業担当者の協力や教務課と連携を図るなどの検討が望まれる。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 卒業生のためのネットワーク構築に必須な同窓会の活動の一層の充実が望まれる。

### 評価領域Ⅶ 社会的活動

- 地域貢献やボランティア活動は学生の自主性と自発的な活動に依存している状況であるが、今後は短期大学として組織的に対応・評価できる体制作りが望まれる。

## (3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

### 3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	合
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神は「実学一体」であり、実用と学問を両立させ、思いやりの心で、社会に貢献すべきものとして、明確に示されている。

教育理念は、自動車工学に関する専門の学術を教授し、応用能力と豊かな教養と人格を涵養し、有用な実践力に富む人材を育成することとしている。教育目的・教育目標は、教育理念を具体的に展開するため、自動車工学に関する理論と技術に関する授業を行い、二級自動車整備士国家資格取得に対応できる、柔軟かつ応用力に富む技術者を育成することとしている。

これらの内容は、学生便覧に記載するとともに、入学時のオリエンテーションやガイダンス等で説明がされており、また教授会でも、「思いやりの心で、『実学一体』の精神を実現しよう」の標語を定めており、定期的な点検等もされている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

自動車工学に関する実践的技術者の育成という教育上の目標に基づき、教育課程は体系的に編成されている。教養教育科目と専門教育科目は、十分な内容を備えている。専任・兼任等の教員配置状況は適切であり、教育課程の改善は意欲的かつ組織的な対応がされている。資格取得には、十分な配慮がされている。授業形態は、講義と実験・実習とのバランスがとれており、必修・選択科目は適切に配置されている。各授業は「実学一体」の精神に基づき構成されている。

シラバスは、理解しやすく、十分な内容を有している。授業評価アンケートは、教授方法等の改善資料として役立てられている。ファカルティ・ディベロップメント

(FD) 活動は教務課を中心として、公開授業及びその検討会等を実施し全学的に取り組まれている。

### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

教員は短期大学の教員にふさわしい資格と資質を有し、専任教員数は短期大学設置基準を充足している。教員の採用、昇任は、諸規程に基づき適切に行われている。教員の年齢構成については適切である。教員は、授業、研究活動、学生指導等に組織的かつ意欲的に取り組んでいる。

運動場、体育館を有した校地・校舎は、安全性に配慮しており、適切に整備されている。校地・校舎の面積は短期大学設置基準を充足している。各授業の実施に必要な講義室等及び情報機器を設置するパソコン教室等は整備されている。

図書館の蔵書数及び広さは十分である。また、購入図書選定・廃棄システムは確立しており、図書館のサービス体制は適切である。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定の方法は適切で、単位の取得状況は妥当な範囲であり、担当教員による学習評価は適切に行われている。学生の満足度の調査は授業評価アンケート内で組織的に実施し、授業の改善に役立てられている。

自動車工業科の専門就職率は良好である。卒業生とは率直な意見を聞く機会が確保されている。企業に就職した卒業生や編入学等で進学した学生も、就職先や進学先からは高い評価を得ている。一方、卒業生のためのネットワーク構築に必須な同窓会の活動の一層の充実が望まれる。

### 評価領域Ⅴ 学生支援

入学者選抜については多様な選抜が公正に実施されており、入学者に対し就学や学生生活のためのきめ細かなオリエンテーションが適切に行われている。クラス担任制も導入することで、適切な指導を行う体制が整備されており、基礎的な計算力に欠ける学生に対しては補習授業等を実施している。

「出欠調査システム」により学生の出席状況を把握し、全教職員が指導に当たっている。また、毎年度学力不足が認められる学生に対して組織的に補習を実施している。

クラブ活動についても教職員の組織による支援体制が行き届いており、自動車部やバスケットボール部等、全国レベルでの活発な活動が行われている。

就職活動や資格取得のための適切な学生支援を行っており、就職内定率は良好な水準である。

### 評価領域Ⅵ 研究

専任教員の研究成果は「新潟工業短期大学研究紀要」や生涯学習活動報告書等が発行されており、外部からの研究資金が採択された実績もあり、発表されている。また、学内での共同研究グループによる活動も行われている。

研究旅費、研究費については必要に応じた申請が可能であり、研究設備も整っている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

生涯学習委員会を設置し、社会人が生涯にわたり学習できるよう支援が継続して行われている。近年の理工系離れをくい止めて社会に貢献することを目的とし、小学校・中学校・高等学校の要望にこたえて出張授業を実施している。

また、地域社会に向けた公開講座、地域連携の生涯学習活動等を活発に実施している。地域貢献やボランティア活動は学生の自主性と自発的な活動により行われている。今後は短期大学として組織的に対応・評価できる体制作りが望まれる。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

当該学校法人の管理運営体制は確立しており、適切に機能している。理事長のリーダーシップが発揮され、また当該短期大学の意思も理事会に反映している。

当該短期大学の重要事項については自主運営を基調とし、教授会で策定した基本方針に基づいてこれを理事会で審議し理事長が最終決定を行っている。

学長は学内の管理・運営について適切に掌握し、また教育の実施でリーダーシップを発揮している。教育研究上の中・長期計画等についても、学長が学内の意見を集約して全学的に周知し計画をまとめている。

#### 評価領域Ⅸ 財務

当該短期大学の予算については学長が議長となる「企画会議」の提案を受けて理事会で決定している。事業計画及び予算は適正に執行されており、財務は健全である。理事会は計画的に健全な財務体質を保持する努力をしており、一時的な支出超過を脱却している。

施設・設備については、規程に基づいて管理・運営されている。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

平成 13 年に第 1 回目の相互評価結果を公表し、平成 19 年度には、第 2 回目の相互評価を実施した。平成 17 年度からは毎年、自己点検・評価報告書を作成し、全教職員に配布するとともに、外部に公表している。

自己点検・評価は、自己点検・評価規程に基づき、各部署の長を中心とした、自己評価委員会が、各種委員会、事務部、学校法人等の意見又は報告を求めて行っている。

点検・評価結果で示された改善すべき点等は、学長に報告され、企画委員会での検討を経て、改革・改善の提案に努めている。